

平成21年度
学校案内

私の人間美学はこ
こで形成された

海音寺潮五郎文学碑より

加治木高等学校



鹿児島県立加治木高等学校

沿革概要

本校は明治30年、鹿児島県尋常中学校第二分校として開校しました。昭和23年、戦後の学制改革により、旧制加治木中学校と加治木高等女学校を主な母体として鹿児島県立加治木高等学校となりました。平成21年に創立百十二周年を迎えた伝統ある学校で、生徒たちは、「清新澁刺・質朴剛毅・堅忍不拔」の校是のもと、文武両道の実践を目指して、勉学に部活動に励んでいます。島津義弘公の居城跡に建てられた校舎は、深い緑に囲まれ、若人が青春の時を過ごすにふさわしい風格ある佇まいを見せています。



海音寺潮五郎文学碑 (大正8年卒)



「芸人の像」法元 六郎 作 (昭和4年卒)

課程：全日制 普通科
 学級数：1年8学級／2年8学級／3年8学級 (計24学級)
 生徒総数：956名 (平成21年4月25日現在)

Enjoy

学校生活

School Life

多彩な学校行事を通じて、切磋琢磨しながら自らの生き方を考えます。



始業式 ●
入学式 ●
実力考査 ●
創立記念日 ●

4月
April

10月
October

●2学期中間考査
●芸術鑑賞会
●実力考査

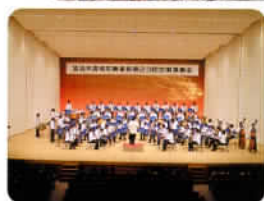


●一日遠足
●定期演奏会
●1学期中間考査
●勤労体験学習

5月
May

11月
November

●一日遠行
●2学期期末考査



●高校総体県予選

6月
June

12月
December

●修学旅行
●龍門講座
●終業式
●冬季補習



●1学期期末考査
●クラスマッチ大会
●終業式
●夏季補習

7月
July

1月
January

●冬季補習
●始業式
●実力考査



●夏期補習
●実力考査

8月
August

2月
February

●学年末考査
●進路講演会



●始業式
●龍門祭
(文化祭・体育祭)

9月
September

3月
March

●卒業式
●クラスマッチ
●ダンス発表会
●終業式



Message

在校生からの メッセージ

生徒会長 ● 上園 歩美 (国分南中出身)

加治木高校は「文武両道」を実践している県下有数の進学校です。一人一人が己を見つめ、集中して学べる環境や奉仕の精神、部活動の成績の高さと他校にひけをとらない様々な魅力があります。私も、その素晴らしいことに心惹かれた者の一人です。高校に入ると、勉強、部活、生徒会と様々な新しい活動が待っています。人それぞれ、やりがいのあることは違うと思いますが、高校生活の中できつと打ち込めることを見つけられると思います。様々な困難にぶつかる中で仲間と出会い、共に支え合い、高め合いながら、その壁に限界まで挑戦してください。きつと「加治木高校に来てよかった。」と思える三年間になるはず。一度きりの高校生活をかけがえのないものにしましょう。そして、「高校に入ったら、新しいことに挑戦したい!」そう思っている中学生の皆さん、ぜひ加治木高校に来てください。



- ### 体育部
- 野球
 - サッカー
 - ラグビー
 - 陸上
 - テニス
 - バレーボール
 - 新体操
 - バスケットボール
 - バドミントン
 - ハンドボール
 - 卓球
 - 柔道
 - 弓道
 - 剣道
 - 空手道
 - 水泳



Club Activities 部活動

文武両道を目指して



文化部

- 吹奏楽
- 書道
- 美術
- コーラス
- 演劇
- 茶道
- 家庭研究
- 百人一首
- 写真
- 文芸
- 放送
- 国際親善

平成20年度の主な部活動成績

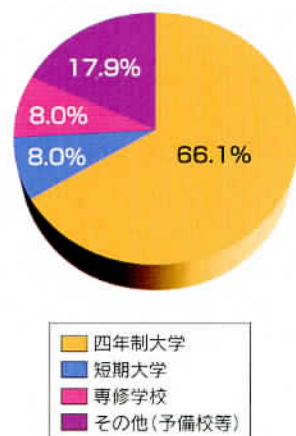
- 全国高等学校総合体育大会団体出場
- 全国高等学校弓道選抜大会出場
- 全九州高等学校空手道競技大会個人形出場
- 九州高等学校新人柔道大会60Kg級出場
- 九州放送コンテストラジオ番組部門入選
- 弓道部
- 弓道部
- 空手道部
- 柔道部
- 放送部

■国公立大学合格者数

	平成19年			平成20年			平成21年		
	国立	公立	計	国立	公立	計	国立	公立	計
現役生	149	28	177	112	27	139	129	25	154
過年度生	19	3	22	21	3	24	28	2	30
計	168	31	199	133	30	163	157	27	184

主な国公立大学

■卒業生の進路状況 (H21)



先輩から君へ Message

鹿児島大学 (医学部 医学科)

今塩屋 聡伸 (国分中出身)

加治木高校は進学校なので、皆さんのイメージどおり勉強量が多いです。しかし、それに負けないくらい部活動や行事にも力を入れており、真に文武両道といえる学校です。私の場合は部活動の代わりに生徒会活動をして、自分流の文武両道を目指しました。全てを成功に導くというのは非常に苦しいことでしたが、仲間と切磋琢磨しながら全てに全力投球することで、私は最高の三年間を過ごしました。私は今、加治木高校を選んで本当によかったと思っています。皆さんも仲間を信じ全てに全力で挑み、自分なりの文武両道を目指してください。より多くの皆さんが、この加治木高校で素晴らしい日々を送れますように、心からお祈りしております。

京都大学 (教育学部)

池田 法子 (隼人中出身)

私は二度とない高校生活を加治木高校で過ごすことができ、本当に良かったと思います。勉強と部活はもちろん大変なこともありましたが、今となつては楽しい思い出ばかりが心に浮かんできます。私は加治木高校で、教科書には載っていないもっと大切な何かを学ぶことができたと感じています。そして、ともに笑い、競い合った友人や最後まで自分を信じ続けてくれた先生に出会えたことが、一番の宝物です。今、自分の卒業アルバムをめくってみると、自分のクラスと自分の部活が一番良く見えます。私はそんな高校生活を送ることができて良かったと思います。これからも加治木高校で学んだことを基礎に、素敵な大人に成長したいと思っています。

広島大学 (法学部 法学科)

楠元 尚太 (重富中出身)

加治木高校は百十余年の歴史と伝統をもつ県内有数の進学校で、作家の海音寺潮五郎先生が人間美学を形成された学校です。校舎や体育館は最近改装され、整った環境で充実した学校生活を送ることができます。

私は、加治木高校で素晴らしい三年間を過ごすことができました。入学する以前は、勉強についていけるか、友達ができるかなどいろいろな不安に思うことがありましたが、入学してみると、加治木高校ならではの熱心な先生方や互いに切磋琢磨しあえる友達に恵まれ、自分の力を最大限に引き出すことができました。また、私はサッカー部に所属していましたが、厳しい練習を通して、技術面だけでなく、精神面や人間性も向上させることができました。

皆さんも人間美学をこの加治木高校で形成してください。

鹿児島大学 (教育学部 社会専修)

鞘脇 哲史 (帖佐中出身)

加治木高校はあらゆる点において優れた学校だと思います。私が特に一番感じたことは、部活動にとっても積極的だということです。「進学校は勉強ばかりしている」というイメージがあるかもしれませんが、そんなことはありません。学校の授業は午後4時頃には終わります。そのような学校は県内でもあまりありません。他の学校よりも早く練習を開始できます。時間にも制限があるかもしれませんが、長い時間だらだらと練習するよりもずっと効果的だと思います。その上、県内外でも有名な指導者も多くいらっしゃいます。実際ハンドボールや野球は県内で好成績を残しました。近い将来全国で加治木高校が戦う日も近いと思います。他にも加治木高校には優れたことが多くあり、自分を大きく成長させてくれるよい環境にあると思います。



今

本校に学ぶ若人たらよ

今日の精進が明日のみのりとなる。

かぎりみて明日を思い、

今日のれを胸め。

清新はつらつ、体を鍛え、知徳を磨き、

均衡のとれた人間形成を図り、

志を立てて夢を持つ。

質朴剛毅、堅忍不拔

精力と中のある人間となれ。

鹿児島県立加治木高等学校同窓会若人の像碑文

昭和52年4月
加治木高等学校同窓会寄贈碑文



鹿児島県立加治木高等学校



〒899-5214 鹿児島県始良郡加治木町仮屋町211
TEL.0995-63-2052 FAX.0995-63-3965
URL <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Kajiki/>
<http://www5.synapse.ne.jp/library/> (図書館)

